

18生 年次通信

福島県立いわき光洋高等学校

18年次通信 No.19

令和元年 11月 29日

～目標に向かって～

C組副担任 渡邊 直浩



みなさんこの写真を見たことがありますか？これは小惑星探査機はやぶさが地球に帰還したときに撮られた地球の写真です。はやぶさの帰還は当時にニュースで多く取り上げられました。はやぶさの目的は「小惑星（イトカワ）までイオンエンジンを使った飛行を行い、自律的に小惑星に近づき、その表面から、物質のサンプルを持ち帰る」ということでした。しかし、その道のりは非常に険しいものでした。本来なら4年で戻る予定がトラブルにトラブルが続き、目的を達成して帰還するところには7年が経過していました。続行が困難といわれる中、あきらめずに目的を達成したことは奇跡の偉業と称えられました。何事においても必ずしも目標に向かって上手く進むとは限りません。でもあきらめず軌道修正を行い目標に向かっていくことが重要だと私は考えます。

～大学模擬授業～

11月14日に多くの大学から先生方をお呼びして20の講座に分かれ、大学模擬授業が行われました。自分の進路に合わせて実際の授業を体験し、より大学のイメージがより明確になったと思います。

- ①法・政治②消防・救急③心理④国際関係⑤工⑥生物・農⑦商・経営・経済
⑧社会・マスコミ・メディア⑨教育⑩音楽⑪美術⑫体育⑬看護⑭放射線⑮臨床
⑯薬⑰理学療法・作業療法⑱幼児教育・保育⑲栄養⑳語学

《生徒の感想》

- ①具体的に法学部でどんなことを学び、どのように生活で活かされるのかまで深く考えた。相手を尊重して偏見を持たないように、社会のことに気を配りながら生活していきたい。
⑨「教育」といっても奥が深く、常に周りの子供たちのことを考えていかなければならないのだと責任感が沸いた。
⑰より強く理学作業療法に携わりたいと感じた。ノーマライゼーションの考え方で、障害があろうとなかろうとQOLを高めるお手伝いをできることは素晴らしい。



奨学金等進学資金ガイダンスが行われました。

日本学生支援機構のスカラシップアドバイザーである千葉哲也氏に来校していただき、具体的な進学費用や奨学金の種類、その条件、返還、大学卒業後のモデルケースなどお話をいただいたことで、進路実現のために漠然とした経済的な不安を払しょくしてくださったと思います。今後は家庭で具体的に話し合い、学習に力を入れましょう。

令和元年 11月1日に、文部科学省より、令和3年度大学入学者選抜から導入予定であった英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入を見送るとの方針が発表されました。予約をキャンセルする場合は、英検サイトより12/3（火）16：30～12/24（火）17：00の間に返金手続きをしてください。

12月の行事予定

- 7日（土）GTBC（別紙で時間を確認）
9日（月）～冬休み図書長期貸出開始
12日（木）小論文講座⑥⑦
19日（木）小論文トレーニング
20日（金）2学期終業式 大掃除
成績不振者指導
23日（月）～1/13（月）冬期休業
23日（月）～27日（金）冬期課外

	A	B	C	D	E
1	国語 高橋	英語 石井	英語 三瓶	数学 川久保	数学 竹内
2	英語 滝口	国語 高橋	数学 竹内	国語 田崎	英語 三瓶
3	数学（イ・小野 ロ・川久保） 英語（私文） 石井	国語 高橋	英語 滝口	国語 田崎	

1/14（火）3学期始業式